

えがお大東っ子

第55号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/>

令和型 大東 教育 ～未来へワクワク～

大東市教育長 水野 達朗

大東市教育委員会教育長の水野達朗です。令和3年度も引き続き、大東市の教育行政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年度は誰もが経験したことのないコロナ禍の影響で保護者の皆様には、各種行事等、例年とは違うかたちでの学校運営に対しご理解いただきましてありがとうございました。コロナ禍は今年度も続く見込みだと言われております。教育委員会としましては、昨年度の経験を活かし、子どもたちの安全と安心を守りつつも、子どもたちの学びを止めることがないよう、引き続き、国や府の指示のもと各学校園と連携していきます。



さて、令和時代の教育では、いわゆる知識を詰め込む教育よりも「正解のない問いに対して、主体的に考えたり調べたり行動したりしながら最適解を導き出す力」を育成する教育が重要視されています。私は民間企業の経営者でしたが、採用では知識を試すよりも、主体性や環境適応力、協働できる力、課題解決能力を見極めて採用をしていた経緯もあります。子どもたちが社会人になる未来では、さらに求められる力も変わっていることも想定しながら「今」の公教育の在り方を変えていく必要があると私は考えています。

大東市の学校においては、先生が一方向的に授業をし、板書をノートに書き写すスタイルだけではなく、未来を生き抜く力を育成するために、子ども同士が学びあう授業づくりが行われたり、大東市の小中学校に通うすべての児童生徒にタブレット PC を貸与したことで ICT を活用した授業が増えてきたりしています。お子さんが学校から家庭に端末を持ち帰ってきてオンラインでクラスメイトとお話したり、宿題の提出をしたりする姿を見られて保護者の皆様も時代の変化を感じ取られるのではないのでしょうか。

今年度からは国が示す学習指導要領も幼・小・中すべてにおいて改定されたものがスタートし、本市においても大東市教育大綱が改訂されました。保護者の皆様が安心して通わせられる学校、地域に開かれた学校、子どもたちが朝起きて「今日は何を学べるだろう」と毎日ワクワクできる学校を目指しながらも、同時に多様な教育機会の創出にもつなげていきたいと思っています。

そのためには、学校園、保護者、地域、行政の連携は欠かせません。今後も保護者の皆様と力を合わせ、「あふれる笑顔 幸せのまち大東の未来を拓く人づくり」のために邁進してまいりますので、どうぞ支援ならびにご協力をよろしくお願いいたします。



『未来を拓く子どもたちは、大東市の宝です』
～大東市教育大綱 3つの重点項目～

大東市では、市長と教育委員会が本市の教育の課題やあるべき姿の協議を経て、大東市教育大綱を策定しています。まちづくりは人づくりであり、人づくりは教育から始まります。

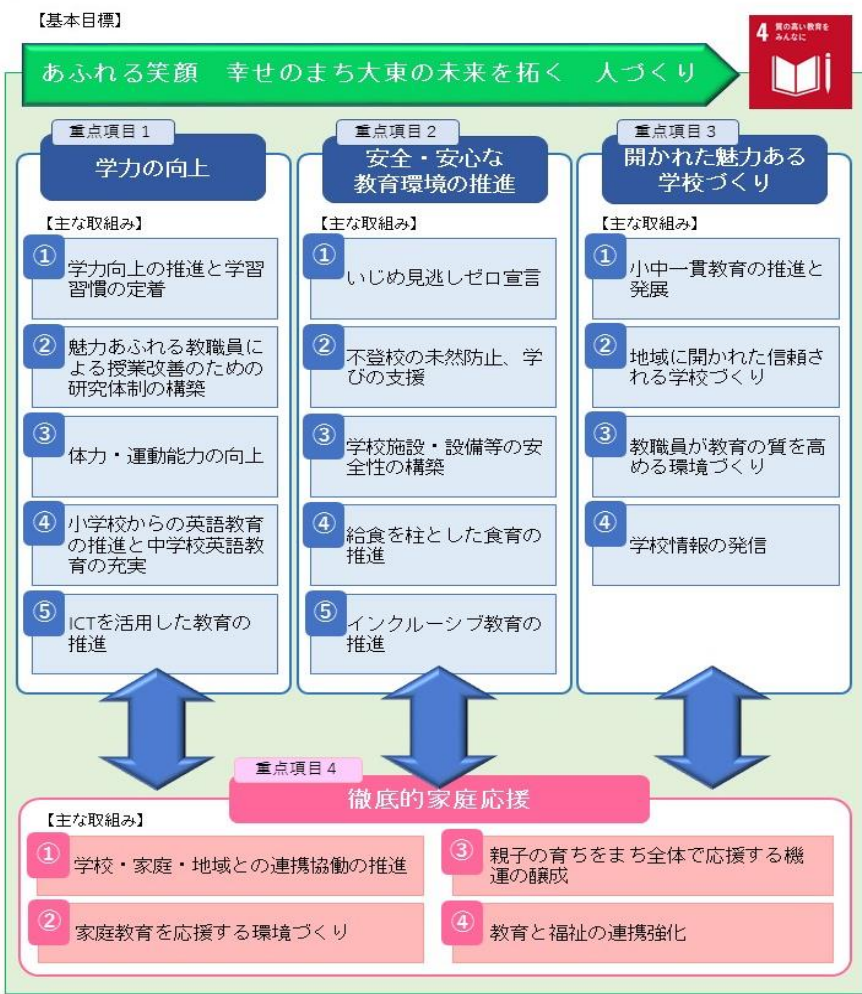
大東市はこの考えのもとで、これからの未来を拓く子どもたち一人ひとりの「学びの個別最適化」を進め、いきいきと、そしてワクワクと学び続けることができる教育の充実に全力を注ぎます。

「学力の向上」を主軸としつつ、そこにICTの活用といった社会情勢を的確に捉えたツールを効果的に取り入れ、学校・家庭・地域が一丸となって、一人ひとりの学びの深化と教育環境のさらなる充実を図ることをめざしています。

各学校園では、基礎的・基本的な学習内容の定着はもとより、自他を大切に、自ら学び続ける子どもたちの育成をめざしています。そのため「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけて、教員主導の授業を見直し、子どもが得た知識をもとに、仲間とのコミュニケーションを通して、主体的に課題を解決する中で、互いを認め、高め合いながら学習を進める「学び合う」授業づくりを推進しています。

大東市教育委員会でも、学校園をより安心・安全で豊かな学びの場とするため、引き続き「教育大綱」及び「だいとう教育ビジョン 2019」を柱として、さまざまな事業の実施及び教職員研修などを通して学校園の指導力向上を図ってまいります。

重点項目の構成



家庭でできる「学びの礎」

- ① 早寝・早起き・朝ごはん
- ② 話をしっかり聴こう
(大人も子どもも)
- ③ 家庭学習の習慣
- ④ 読書の習慣
(幅広い知識や多様な感性を)
- ⑤ 子どもを認め・良いところを伝えよう

Let's try!



大東市家庭教育支援チーム「つぼみ」の活動について

「おうちの方が元気になる！笑顔あふれる家庭教育の充実をめざして」

家庭教育はすべての教育の出発点です。

大東市教育委員会では、保護者のみなさまが子育ての悩みや、不安を抱えて孤立しないよう、また、安心して子育てができるように、地域の方々とともに家庭教育の充実に向けた活動に取り組んでいます。

大東市家庭教育支援チーム「つぼみ」は、子どもの健やかな育ちの基盤である家庭において保護者が安心して子育てを行うための支援を行います。また、家庭・地域・学校がそれぞれの役割を果たしながら、連携し、充実した教育環境を目指し活動しています。



【活動内容】

☆ 子育てに関する状況把握調査を実施します

子育てに関する状況把握調査を公立小学校1年生と4年生の児童がいるご家庭を対象に実施し、保護者の子育てに関する現状や考え方を伺いし、さらなる家庭教育支援に努めます。

☆ 公立小学校1年生の家庭へのアウトリーチ（家庭訪問や電話連絡）活動を実施します

保護者の子育てに関する現状や考え方を伺いしたり、子育てや教育に関する情報をお届けしたりいたします。

☆ 子育てサロン（いくカフェ）を開催します

気軽に集まってお話ができる場や、子育てに関する学習の機会の提供を行います。

（対象：全保護者）

【スクールソーシャルワーカーの紹介】

各小学校やネウボランドだいとう（子育て世代包括支援センター）には、スクールソーシャルワーカーがいます。スクールソーシャルワーカーは、家庭、学校、地域等と子どもたちの健やかな育ちについて、一緒に考えます。



家庭教育支援事業について（市HP）



スクールソーシャルワーカーの紹介（市HP）



大東市教育委員会【公式】YouTube ちゃんねる 家庭教育支援再生リスト

※心配ごと・困ったこと、どんなことでもお気軽にご相談ください。

相談先：ネウボランドだいとう（子育て世代包括支援センター）

TEL 072-874-2766（直通） 072-874-2767（直通）

問い合わせ先：大東市教育委員会 家庭・地域教育課

TEL：072-800-7760（直通）

ひとりで悩まず相談を

～「大東市教育支援センター『ボイス』と『教育相談室』～

学校に行きたい。でも、行くことができない。さまざまな理由でそんな状況にある子どもたちが元気を取り戻すための場所として、**キッズプラザ2階に「大東市教育支援センター『ボイス』」**を開設しています。これまで「**適応指導教室**」として親しまれてきた「ボイス」ですが、昨年度から「**ボイス de リスタ**」という愛称とともに「**大東市教育支援センター**」として生まれ変わっています。

また、民間での経験豊かな職員が新たに加わり、そのノウハウを生かした活動を子どもたち一人ひとりの現状や目標に合わせて考えています。学校の先生や家族とは違う大人とのかかわりの中で、新たな変化が生まれます。少しでも「**どんなところか知りたい**」と思ったら、各学校を通じて見学にお越しください。

大東市教育支援センター「ボイス」

(愛称「ボイス de リスタ」) コンセプトイメージ

Re:start (リスタート) : みんなの声を聴いて再出発を!

Re:study (リスタディ) : みんなの声を聴いて学びなおしを!

Re:style (リスタイル) : みんなの声を聴いて新たな生き方を!

また、キッズプラザ2階には**保護者向けに「教育相談室」**も開設しています。「親の思いがうまく伝わらない」「子どもがいじめられているかも?」といった悩みなどを、教職経験豊かなスタッフに**面談や電話で直接相談することができます**。また、**メールでの相談は開室時間外でも随時受け付けています**。



教育相談室



大東市教育支援センター「ボイス」

大東市教育支援センター

【開所日時】

「ボイス」
火・水・木・金曜日…11:00～15:00

【開室日時】

教育相談室
4・7・8・1・2・3月 … 金曜日
5・6・9・10・11・12月 … 水・金曜日
10:00～14:00

【連絡先】

大東市教育支援センター

「ボイス」

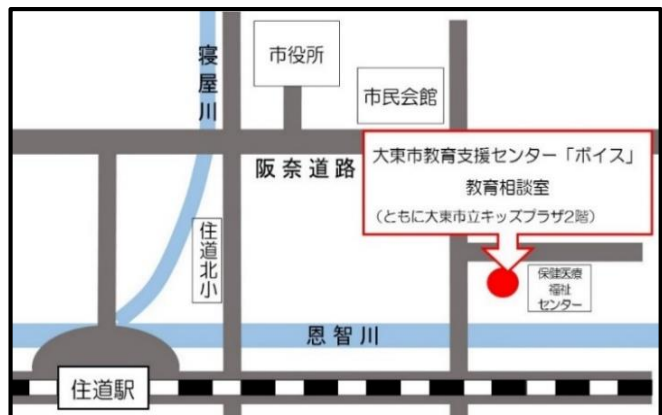
各小中学校

または大東市教育委員会

072-870-9104

「ボイス」ホームページは

こちら⇒



教育相談室 072-874-8785

○メール相談は大東市役所ホームページから

トップページ > 相談窓口 > 子育て > 子育て相談施設 > 教育相談のご案内